

政策コメンテーター報告(第2回)(意見照会期間:2016年10月31日～11月11日)

分野:	地域経済	
氏名:	高橋 はるみ	北海道知事
	質問事項	記述式回答
	予測される経済・社会的な構造変化(2030年)	(300字以内で回答してください)
(1)①	2030年には、各分野において、どういった経済・社会的な構造変化が予測されるでしょうか。	<p>全国の人口が減少する中、北海道においても、2015年に543万人であった人口が、2030年には472万人まで減少し、高齢化人口比率は36%を超えると推計されている。</p> <p>こうした急激な人口減少・超高齢化は、生産・消費など経済活動の深刻な停滞を招き、地域の経済と雇用を支える中小・小規模企業などの経営が立ち行かなくなる恐れがあるばかりでなく、税収減による公共部門のサービス・投資余力の著しい低下を招きかねず、さらに、こうした流れは地方から都市部へと波及し、国全体の活力が著しく低下することが懸念される。</p> <p>一方、2030年度末には北海道新幹線の札幌延伸が予定され、また、本道の札幌市が2026年の冬季オリンピック・パラリンピックの開催地として立候補の表明をしており、これらの実現が、本道経済・日本経済に大きなインパクトを与えるものと考えている。</p>
	目指す経済・社会の姿(2030年)	(200字以内で回答してください)
(1)②	また、そうした構造変化を踏まえ、我が国が目指す経済・社会の姿はどうあるべきでしょうか。	<p>人口減少・高齢化とそれに伴う財政制約が懸念される中、地域経済が持続的に発展していくためには、産学官や産業間など多様な連携により商品やサービスの付加価値を高め、地域内でヒト・モノ・カネを活発に循環させ、また、地域の資源や技術などを活かし、食の輸出やインバウンドの拡大などにより海外の成長力を取り込んでいくことができる社会としていくことが必要。</p>
	今後取り組むべき構造改革(2016年～2030年)	(300字以内で回答してください)
(2)	上記(1)で挙げられた経済・社会の姿を実現するためには、足元から今後に向けてどのような構造改革に取り組むべきとお考えでしょうか。基本的な考え方や具体的な方法がございましたらご記載ください。	<p>地域経済を力強いものとし、人口減少問題を克服していくためには、食や観光などの分野での旺盛な海外需要を取り込むとともに、人材力の強化や地域産業における付加価値の向上など、地域自身が経済力を高めていくことが重要と考えている。</p> <p>このため、本道では、産業活動の基盤となる優れた人材の育成・確保に向け、人材力の向上を図りつつ、食や観光など本道の強みを活かした地域産業の付加価値向上や、関連産業の裾野が広いものづくり産業の振興に取り組むとともに、新たな需要の獲得に向け、今後の成長が期待される健康長寿・医療関連産業や環境・エネルギー産業の育成・振興にも取り組むなど、世界を視野に入れた力強い自立した地域経済の確立を目指しており、こうした地域の取組を後押しし、地域が独自性を発揮できるような施策を期待する。</p>